

公開市民講座（日本景観生態学会仙台大会公開シンポジウム）

東日本大震災から13年 砂浜海岸エコトーンでとらえる 大規模攪乱からの再生とこれから

概要

東北地方太平洋沖地震・津波による沿岸域の大規模自然攪乱から13年。復興・防災事業の展開も踏まえながら、一連の攪乱・改変の影響と自然再生・地域再生の様態を景観生態学的な視座から振り返り、さらにこれから求められる沿岸域の統合的な管理のありようについて議論します。

日時

2024 **6/1** **土**
14:15～16:45
(開場 13:00)

入場・オンライン聴講無料

オンライン参加者は事前登録が必要となります



登録はこちら

<https://jale-japan.org/jale2024/>

会場

東北学院大学 土樋キャンパス

ホーイ記念館ホール（地下1階）

アクセス：JR「仙台駅」から徒歩約20分
地下鉄南北線「五橋駅」または「愛宕橋駅」から徒歩約5分

大学の駐車場は利用できません。公共交通機関、あるいは
近隣の民間有料駐車場をご利用ください。

<https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/campusmap/tsuchi-toi.html>



話題1

（仮題）東日本太平洋沿岸広域モニタリングと「グリーン復興」
平嶋 賢治（アジア航測株式会社）ほか



話題2

大津波からの砂丘・湿地植生の自律的再生のいま
岡 浩平（広島工業大学）

総合司会／モデレーター

島田直明

（岩手県立大学）



話題3

大規模攪乱後の森林再生を振り返る
富田 瑞樹（東京情報大学）



話題4

みんなで進める海辺の自然再興によるレジリエントなまちづくり
松島 肇（北海道大学）

お問い合わせは、以下のフォームをご利用ください。

<https://forms.gle/e9dFRZBYuCKBxmtD9>



主催

海辺景観フォーラム（仙台）／日本景観生態学会